

組織概要

<http://www.w3.org/Consortium>

W3Cは Web技術の標準化と推進を目的として Webの発明者であるTim Berners-Leeによって1994年10月に設立された会員制の国際的な産学官共同コンソーシアムです。2004年10月で設立10周年を迎えました。アメリカ合衆国マサチューセッツ工科大学計算機科学人工知能研究所(MIT CSAIL) フランスに本部を置く欧州情報処理数学研究コンソーシアム(ERCIM) および日本の慶應義塾大学の三者がホスト組織として共同運営を行っています。技術仕様の勧告(Recommendation)としての策定のほか Webに関する情報の提供、技術開発の促進、新技術のプロトタイプ実装などに取り組んでおり、現在までに100本を超える勧告が策定、公開されています。

国際標準

<http://www.w3.org/Consortium/activities>

W3Cでは 作業部会(WG)が具体的な技術仕様や指針の標準化を行います。WGは 主にW3C会員組織から参加する技術者とW3Cの技術スタッフで構成されます。WGが作成した技術仕様や指針は 会員組織と一般からのレビューに基づいて改善され、W3Cの技術総括責任者であるTim Berners-Leeの決定により W3C勧告となります。それぞれのWGは次の4つの領域のいずれかに所属し、様々な技術を取り扱っています。

- **Interaction** Web上の情報に対する新しいアクセス手法の探究
HTML 5 / CSS / XHTML2 / XHTML / XForms / XML Events / WebCGM / PNG / SVG / SMIL / Timed Text / MathML / CDF / Web Integration Compound Document (WICD) / Web APIs / Web Application Formats / Rich Web Client / DOM / URI / IRI / ITS / Character Model / 国際化
- **Technology and Society** Web上の政策的課題に取り組む支援技術の提供
Semantic Web / RDF / OWL / SPARQL / SKOS / GRDDL / POWDER / Rule Interchange Format / Health Care & Life Sciences / SOAP / WSDL / WS-Choreography / WS-Addressing / WS-Policy / XML Schema Databinding / SOAP-JMS Binding / Semantic Annotations for WSDL / Semantic Web Services / Security Context / Policy Languages / Privacy (P3P) / PICS / XML 署名 / XML 暗号化 / XKMS / 電子政府 / 特許方針
- **Ubiquitous Web** 誰もがいつでもどこでも如何なる機器からでも利用できるWebの実現
XML / XML Schema / XML Namespaces / xml:id / Infoset / XML Processing Model / XSL / XSLT / XPath / XQuery / XML Base / XLink / XPointer / XInclude / XML Interchange / Service Modeling Language / Binary XML / Ubiquitous Web Applications / VoiceXML / SRGS / SSML / SISR / CCXML / SCXML / PLS / Multimodal Interaction / EMMA / InkML / CC/PP / Device Description / Mobile Web Initiative (MWI) / Mobile Web Best Practices / Mobile Web for Social Development (MW4D) / mobileOK
- **Web Accessibility Initiative (WAI)** 障害を持つ人を含むすべての人が使いやすいWebの実現
指針の策定 (WCAG / UAAG / ATAG / ARIA / AGE) / W3C技術の検証 / 評価・修正ツールの評価と開発 / 普及・啓蒙活動

この他、領域横断的な活動として、萌芽的な技術を対象に迅速な意見集約を目的とするIncubator Group (XG)があります。XGには現在

会員参加

<http://www.w3.org/Consortium/join>

W3C会員組織としてご参加頂くと、次のような特典があります。

- 技術仕様の策定や新たな技術提案が行える作業部会や研究会などへの参加
- 会員専用のWebページやメーリングリストを通じた、仕様案などの最新情報の入手
- 研究員の派遣を含む人的、技術的な交流 (W3C訪問研究員プログラム)
- W3Cの活動に対する戦略的な方向付け
- W3Cを通じた広報活動だけでなく、W3C会員同士の連携を活用した、様々なビジネス上の相乗効果

現在400を超える会員組織が世界各国から参加しています。コンピュータ産業やインターネット産業、情報産業を主導する主要な企業だけでなく、世界有数の研究機関や大学、先進各国の政府関係機関、NPOやユーザ団体など、多様な組織で構成されています。日本からはこのうち30組織ほどが参加しています。日本の最先端技術を国際標準化するためにも、皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

W3C慶應

<http://www.w3.org/Consortium/contact>

W3C慶應は東アジア地区担当のW3Cホストとして、1996年9月に慶應義塾大学湘南藤沢キャンパス(SFC)併設のSFC研究所に設置され、2006年9月で開設10周年を迎えました。現在11名がスタッフとして活動しており、技術面では特に Semantic WebやWeb Services、HTML / XHTMLの他、Web 2.0 Ajaxやマッシュアップの基盤技術となるCDF / Web API / WAF、2次元ベクターグラフィックス言語SVG、携帯機器からの簡便なWebアクセスを実現するMWI、音声を含め様々な入出力機器を通じたマルチモーダルなWebアクセスを実現するVoice BrowserやMMI、Webの国際化などに取り組んでいます。またW3C会員組織および一般の皆様向けに、日本語による情報提供やWeb関連技術の普及・広報活動も行っています。

入会希望・報道取材・ご質問などがございましたら、下記までお気軽にお問い合わせください。

慶應義塾大学SFC研究所W3C
住所: 〒252-8520 神奈川県藤沢市遠藤5322
TEL: (0466) 49-1170 FAX: (0466) 49-1171

E-mail: keio-contact@w3.org URI: <http://www.w3.org/>